

高校生メディカル講座（前期）

医進類型指定事業の一環として7月20日（土）に「高校生メディカル講座」を実施しました。

講師に北海道大学病院整形外科医学博士の高畑雅彦先生をお招きし、医療を目指す上での心構えや最新医療をテーマにご講演をいただきました。

会場には旭川市内から150名余りの生徒が集い、朝から大変な熱気に包まれました。

高畑先生は旭東のOBでもいらっしゃり、ご自身の当時の高校生活や進路に対する考え方、また留学経験なども交えながら、医療職との関わりについてわかりやすくお話しくださいました。



前半の講演は「他分野の科学技術が結集する医学研究のおもしろさ」と題し、誰にもでもできる手術や治療技術開発の重要性、自己の得意分野を活かすこと、医療職の多様性など、医療に関わる様々な分野を多面的に捉えながら興味深くお話しくださいました。

後半では「骨の科学と臨床応用」と題し、先生が専門に研究されている「ほね」について、その成分から役割に至るまで詳しく説明くださいました。

専門的分野は聞けば聞くほど実に奥深く、日常では知り得ない興味深い内容ばかりで、受講生は皆真剣に聞き入っていました。

生命科学の研究のおもしろさ、異種研究者とのコラボやコミュニケーションの必要性、適切な情報収集の効用、現在の学習の大切さ、英語習得の重要性など、受講生の心を惹きつけ、今後の高校生活のあり方を具体的に示唆してくれました。

人の生命に携わる以上、医師としての総合的な知識・技術や人間としての修練を身につけ、人の命を預かる重責に耐えうる強い意志を持つことはもちろんですが、同時に医療に対して強い興味関心を抱き、将来の医療の充実に貢献しようとする積極的な思いを持つことの大切さにも気づかされたこととでしょう。

医学の進歩が早い分、常に先を見据えながら最新の医療に関心を持つことや、日頃から様々な情報に耳を傾けることの重要性を改めて認識するよい機会となりました。

